

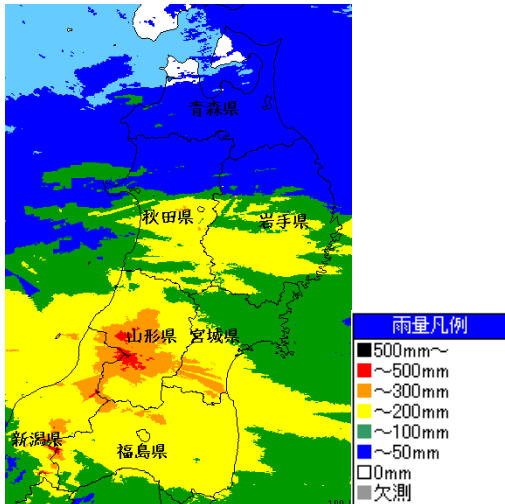
令和2年7月豪雨報告

(株)双葉建設コンサルタント

【豪雨の概況】

本年の7月27日から前線及び低気圧の影響により山形県を中心に非常に激しい降雨となり、山形県の志津雨量観測所（国交省所管）では累加雨量288mmを観測し、湯殿山雨量観測所では280mmを観測さらに日暮沢観測所においては302mmを記録しました。

最上川では主要な4つの水位観測所において計画高水位を超過し、既往最高水位を更新。その中でも大石田観測所においては既往最高水位を約1.7m上回り、更に計画高水位を約0.7mも超過するなど、村山、最上地方を中心に県内各地で土砂災害や河川の氾濫が発生しました。



7月27日9時から29日9時までの48時間の累計雨量

【被害状況】

直轄河川においては、最上川で堤防の越水が4か所発生。県管理では白水川で決壊が発生するなどして、最終的に床上浸水149件、床下浸水555件など建物にも甚大な被害を受けました。

表 県管理施設の被害状況

区分	山形県	市町村
道路	78路線 327箇所	625路線 1,161箇所
河川	133河川 605箇所	157河川 222箇所
砂防	37箇所	



UAV画像（大蔵村白須賀越水地点）

【被災対応状況】

当初の被災対応に関しては、最上川中流において流量観測業務を受注していたため、洪水状況撮影、洪水痕跡調査、砂防施設の状況調査を逐次依頼され、対応することとなりました。

- 7/29 ・降雨時における高水観測（4か所）
・砂防施設状況調査（2種点検）
- 7/30～・洪水痕跡調査

（最上川57.8km、鮭川3km、小国川2.8km、丹生川2km）

その後、8/5より東北地方整備局と（一社）東北測量設計協会との災害協定に基づき、災害申請書等の測量業務を実施、新庄河川事務所管内の申請書に必要となる被災状況写真、UAV撮影および横断測量を会員3社（双葉建設C、大和工営、出羽測量）で実施することとなりました。また、山形河川国道事務所においても同時期に災害協定に基づく災害申請書作成業務が依頼され、会員2社（新和設計、三協技術）から対応いただきました。

【最後に】

ここ数年毎年のように東北地方での災害が頻発している。当社においても毎年災害対応を行い、技術の伝承に心がけています。しかしながら、災害対応はやはり初動と日頃の心構えが大事だと痛感した次第です。日頃より人員の確保や人材育成、機材の調整など準備を怠らず、また社員の安全を確保しながらこれからも尽力してまいります。